

入澤彩記念女性生理学者奨励賞 募集要項(2026年度)

I. 募集について

入澤彩賞は、故入澤彩先生のご遺志を継ぎ、ライフイベント等様々な状況を経ても頑張って研究を続けている女性研究者を奨励するために設けられました。

副賞には1人50万円を贈呈する。

研究の推進に役立つのであれば使途に制限は設けない(研究費として使用することも可)。

- ・ 選考対象と応募資格: 様々な生理学の分野で優れた研究成果を上げた女性研究者を対象とします。
- ・ 入澤彩賞は、2つのカテゴリーにて募集いたします。一つは、学位取得後16年未満の若手研究者枠で、もう一つは、学位取得後16年以上の中堅研究者枠です(計2名)。
2027年3月31日時点での学位取得後年数とします。
(両方のカテゴリーから1名ずつ選ばれますが、審査の過程で、どちらかが、該当者なしとなる場合があります。)
- ・ 3年以上の正会員歴(学生会員歴を含む)を有する生理学会会員であることが必須です。

詳細は入澤彩記念女性生理学者奨励賞(入澤彩賞)規定をご確認ください。

II. 応募書類

① 履歴書

- 大学入学以降の学歴・職歴と研究歴についてお書きください。
- ライフイベントの有る方は、研究歴の中に、ライフイベント歴をお書きください。

審査方針として1)研究業績、2)ワーク・ライフ・バランス、3)社会活動の項目に分けて、各項目の1)を50%、2)を30%、3)を20%の割合で審査し、評価します。

② 研究業績の記載について

- 若手枠の方は、過去10年間の業績リストを作成してください。その間、研究の中断期間などがある場合は①履歴書の研究歴にライフイベント歴を記載してください。
- 中堅枠の方は、今までの業績リストの中で重要なものを選んで業績リストを作成してください。研究の中断期間等がある場合は①履歴書の研究歴にライフイベント歴を記載してください。
- 業績は、新しいものから古いものとなるように並べてください。
- First Author および Corresponding Author にはアスタリスク*を付記してください。

③ ワーク・ライフ・バランスの記載について

- ワーク・ライフ・バランスに関しては、自分自身の結婚、出産、育児、病気療養、入院、そして家族の介護というイベントに対して、どのように対応して研究を継続してきたのかをA4で1枚以内に記述してください。

④ 社会活動の記載について

- 社会活動の項目には、過去5年間の生理学会活動(生理学会での学会発表、シンポジウムオーガナイザーやシンポジウムの演者、各種の委員会の委員長や委員の履歴)や男女共同参画・ダイバーシティなどの活動、女性学生や研究者に対するメンター、出張講義など活動されたものを簡条書きにして記述してください。

⑤ 代表的論文の紹介

業績リストに書かれた原著論文の中で5編以内を選んで PDF ファイルを添付し、その価値をアピールしてください。また、各論文の中で、申請者の担当した内容についても明記してください。(全体で 1000 字程度)

⑥ 競争的資金の獲得状況

- ☆ 2026 年度(現在までに獲得が決定している)競争的資金獲得において代表者あるいは分担者として獲得された競争的資金の名称と獲得期間、本年度の獲得額、さらに、その計画に入っている全ての分担研究者の名前を明記してください。
- ☆ 今までの競争的資金獲得に関しては、業績として評価いたしますが、今年度多くの獲得資金がある場合は、あまり研究費が取れていない人を優先する可能性があります。

⑦ 今後の研究について

今後の研究計画とその発展性についてお書きください。(600 字程度)

Ⅲ. 申請方法

マイページ(<https://physiology.jp/>)にログインの上、「各種申請・回答ページ」一覧の該当フォームよりご申請ください。

各申請フォーム右側の「回答する」をクリックすると申請フォームが開きますので、画面に沿って入力ならびにアップロードをしてください。

以上